

研修だより

No.1

本間学級（6－3）提案授業

「教わる」から「学ぶ」授業への転換

～“できた！わかった！成長した！”を実感させる学びのデザイン～

5月20日（月）に、2年次目の授業イメージを校内で共有していくため、本間教諭による国語の提案授業が行われました。今回の授業は、研究仮説①にかかわっては、「個別目標を立てる」こと、仮説②にかかわっては、「ゴールまでの道筋をつくる」ためのロイロノート（シンキングツール含め）等の活用、など具体的な手立てを盛り込んだ内容でした。授業後の研究協議では、ブロック毎に自分たちのブロックではこの授業を受けて、どのように今後、実践できそうかということについて協議し、全体で共有しました。

25分間を保障した課題に迫る思考の時間

一人一人が目標をもち、学習の見通しをもつための導入



学習をまとめる全体交流



【ブロック毎の発表から】※一部抜粋 詳しくは研究部クラスルーム参照

○低学年

- ・目標の設定は、最初は選択肢を用意する。
- ・「ふりかえりのわかめ」に継続して取り組む。

○中学年

- ・選択肢から選ぶと教師が評価しやすい。
- ・目標と振り返りはロイロを使ってみる。

○高学年

- ・個人目標の毎時間の設定は難しい。
- ・国語などの最後に言語活動（学んだことを最後に表現する）がある教科は、個人目標を書く活動を取り入れやすいかも。

○特別支援

- ・毎時間、個人目標設定は難しい。見通しをもたせ、不安がらないように、単元のゴールを知らせ、単元の目標をもたせる必要性。1時間の中でも見通しをもってできるようにしている。
- ・それぞれ進捗がちがうが、自己調整力をつけさせていきたい。

【まとめ】

- ・子どもたちが選択肢から選んでそこから自分の言葉で個別の目標を立てられるように、明日からできることをやっていきましょう。
- ・ブロック毎、授業者が決まったら、5月中に研究部に報告を！
- ・今年度は、研修回数が減っているので、学年研修でも授業でどんなことができるか、話をしていきましょう。

【校長・教頭より】

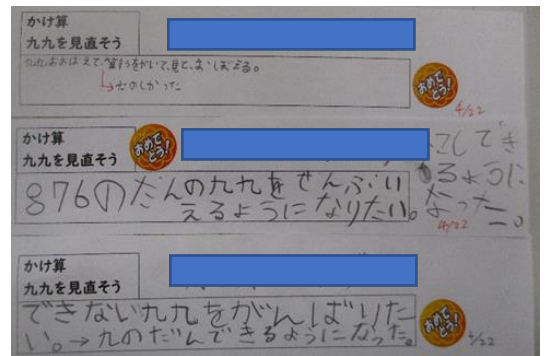
- 学ぶことの楽しさを実感している子どもたちが見られるとよい。高学年は、楽しみ方が高次になる。子どもが楽しむ姿をイメージしながらの授業作りを。
- 本時はまとめて集約されていて、キーワードが出ていたので、国語としてよかった。ゴールを示す課題になっていた。
- 日常実践の繰り返しが大事である。可能な限り子どもの思いに寄せて、教科にこだわらず、子どもが選択、決定する場面を数分でも入れてほしい。
- できたことを実感できる手立ての1つとして振り返りをするとよい。できていない自分とちょっとでもできた自分を比べることで実感できる。何かに挑戦させる終末の時間を設定することもできるだろう。
- 単元全体の目標をもたせる場合は、ゴールにどれだけ近づいているかを、自己評価や○や×にこだわらず、教師が楽しみながら、手立てを試してほしい。
- シンキングツールの使用は、発達段階に合わせる必要がある。高学年ならいいかもしれない。低、中学年でも使うときは学年で一緒にやってほしい。
- 1時間に研究テーマを集約するのは難しい。単元で考えて子どもの主体性が伸びるよう今後も考えていくとよい。

本間先生、忙しい中、授業の提案をありがとうございました！

特別支援（カモカモ3年算数）でもやってみました（研究部会での交流から）

最初の単元、かけ算では、

- ①1 時間目にどの程度九九が定着しているか、確認した上でどんな単元の学習なのかを伝えて、それぞれに、単元の学習の終わりにはどうなりたいか、を書かせた。
- ②この紙を机のマットの上にはさめておいて、時々ふれるようにした。例えば、〇〇さんなら、その日の課題内容を終えたあとに、7の段を唱える練習をするなど。
- ③23日が単元テストなので、22日のテスト前日に振り返りをさせた。あくまで、自分の設定した単元のゴールがどうだったか、という視点にして、一言書かせた。この紙をノートに貼り付ける予定。
- ④その他として、がんばり続けることや書くことが苦手、とても遅い児童もいるため、学習を頑張ったら花丸をもらえて、それがたまると、シール。とか、お助けノートを作っておく。とか、挫折せずに学習に取り組むことができるように、やってみている。また、毎時間の定着問題は、必ず前時、前々時で既習となった問題もいれるようにした。



じ じかん かつ かんが 時こくと時間のもとめ方を考えよう

こうなりたい！

そのために、

- 【授業中、一生けんめい取り組む】
- 【家で時計を見て、何時何分か家の人に伝える】
- 【やり始めとやり終わりの時刻を書いて何分間か計算する】
- 【家庭学習で復習する】

↑第2単元も、同じように個別目標（ゴール）を書かせて、振り返りまでやってみよう。個別のゴール設定では、レディネスチェックとその自覚が大事になるのかな、と感じる。また、ゴール設定したからには、そのためにどうする・何をやるということを自分が決めないと達成感が得られないかな？と第1単元をやってみて思ったので、手立てを選択できるようにしてみようと考えている。

いずれにしても、その単元のうちに、習得・定着できる児童は、少ないだろうと考えられるので、その単元が終わっても、意識して続けて取り組む必要があると考えている。